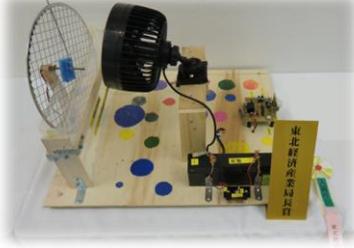
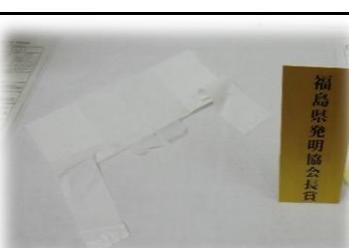


第70回 福島県発明展

受賞作品一覧

(敬称略)

No.	受賞名	作品	出品者	作品概要
1	福島県知事賞	書籍の落下 自動防止装置 	郡山市 丹治 順一	既存の落下防止装置はサイズが大きく、書籍の移動等に邪魔になる物が多くかった。本発明は、機構ボックスがコンパクトになっており、更に普段の利用では邪魔にならない様に設置出来る。昨今、地震が多発している状況の中、落下物によるケガ・避難経路の確保・復旧作業の軽減を図る事ができる。
2	福島県知事賞	被災地で使えるロボット 	福島県立 白河実業高等学校 塙校舎 3年 関根 拓海 3年 鈴木 陸	ニュースで能登半島地震を見て、自分達の技術で何かできる事はないかと考えた。がれきが積み上がって人が入る事のできない危険な場所に進入する事ができ、テレビ電話のような機能を持ったロボットを作った。
3	福島県知事賞	腕にかかる負担を軽減! 「サスペンション付きお助け杖」 	福島市立 清水小学校 6年 佐藤 生実	坂道で杖を使っている方が大変そうだったので、もっと使い勝手が良くなる方法がないか考えた。坂道や階段などの段差がある場所で杖をついた際、サスペンションが上下に動く事によって腕にかかる負担が軽減される。
4	東北経済産業局長賞	人が来たらシャボン玉 自動に出るぞう君 	福島県立 石川支援学校 1年 渡邊 江麗奈 1年 荒井 凜音	小学部児童がシャボン玉遊びをしていた。上手にシャボン玉を作れない児童達もいたので、自動でシャボン玉が出たら皆で楽しめるのではないかと思いこの作品を作った。人が装置に近づくと、センサが反応して設定した時間シャボン液の付いた網を回転させながら送風機でシャボン玉を発生させる。
5	一般社団法人 福島県発明協会長賞	ぐい呑み 	二本松市 有限会社 出川工作所 出川 正人 佐藤 勝弘	内底面・内側面部に傾斜がついており、液体を注いだ時に外に飛び跳ねない構造となっている。また、この構造により、お酒の香りを逃がさずに楽しめるようになっている。

No.	受賞名	作品	出品者	作品概要
6	一般社団法人 福島県発明協会長賞	ストレスフリーレジ袋 	学校法人 いわき秀英学園 秀英中学校 3年 西内 ひなた	スーパーなどで買い物をし、袋詰めをしようとした時、レジ袋がなかなか開かず苦労することがあり、どのようにすれば開けやすくなるか考えた。袋の中心にある取っ手の部分を、互い違いにサイズを変えることで袋を開けやすいうようにした。
7	一般社団法人福島県 発明協会長賞	しみーる君 (留守番自動水やり装置) 	郡山市立 桜小学校 6年 斎藤 陽樹	夏場暑い日が続いている、2・3日留守にする時など、植物に水やりができる前に枯らしてしまいそうな時がある。そこで、「毛細管現象」を利用してひもで水を汲み上げて、プランターなど全体に水をしみこませる自動水やり器を作った。
8	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島再生可能 エネルギー研究所長賞	温水装置「いつでも湯めを」 	南会津町 湯田 哲	長期間使用した温水器、ポ이라ーは、一部に故障を起こすと製品全体が交換となる事が多い。また太陽光パネルは天気によって蓄電効果も左右されてしまう。そこで、晴れでも曇りでもいつでもお湯を作る事できる装置を考えた。本作品は、いかなる電圧でもユニットを増減させる事によってお湯を作る事が出来る装置である。
9	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島再生可能 エネルギー研究所長賞	縮小クラゲ 	いわき市立 勿来第二中学校 2年 田邊 詩織	ゴミの量を減らす為、少しでも小さくしてゴミを少なくできるよう製作した。細く切ったフリーザーバッグをゴミに巻き付け、何もしないと大きく邪魔になるゴミを、小さくコンパクトにまとめて捨てる事ができる。
10	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島再生可能 エネルギー研究所長賞	太陽光を利用した車がすずし君 	棚倉町立 近津小学校 6年 大竹 晨陽	両親は僕の習い事送迎の為、車の冷房をしばらくかけて涼しくしてくれている。そこで、両親に感謝の気持ちを込めて、日よけに太陽光発電パネルを貼る事によって、エンジンをかけることなく車を冷やす作品を考えた。

No.	受賞名	作品	出品者	作品概要
11	福島県教育委員会 教育長賞	パッキンポッキン	いわき市立 勿来第二中学校 3年 丹治 奏介	アイスの棒がのどに当たって痛い思いをしたため、この作品を考えた。棒を食べた所から折って、邪魔になる部分をなくし痛い思いをせず、アイスを食べる事ができる。
12	福島県教育委員会 教育長賞	ギプスでも持てるもん	相馬市立 桜丘小学校 5年 菊池 充	転んで利き腕を骨折してしまい、ギプスを付けるようになった。そこで輪っかに手に通す事により、ギプスの上からでも簡単に道具を持つ事ができるこの作品を考えた。輪っかには道具固定用の部分があり、使いたい道具を入れ替えて固定する事ができる。
13	公益社団法人 発明協会会长奨励賞	座☆U P	南相馬市立 原町第三小学校 5年 白瀬 乃々佳	膝が痛い祖父が、イスから立ち上がるのに大変そうなのを見て考えた。立ち上がる時に、前に体重をかけると、ばねの力が上の板と座布団を押し上げ、立ち上がりやすい様に補助してくれる。両脇にレバーを付けて手をかけることで、立ち上がりやすい様に工夫をした。
14	日本弁理士会 会長奨励賞	ぼくでもできます。 片手でもしぼれます。	田村市立 常葉小学校 4年 郡司 勇観	友達がケガをして片手で作業しているところを見て思いついた。一人でも雑巾や台ふきんを絞れる作品を考えた。作品を水道蛇口に取り付け、長方形に開いている穴の部分に雑巾を通すことで、片手でも絞る事ができる。力の弱い小さな子でも簡単に雑巾を絞ることができる。
15	福島県工業クラブ 会長賞	支柱用発電装置の設置工法	郡山市 薄井 介	山林を開発造成することなく、現況の地形に発電用支柱を任意の間隔で設置、その支柱上部空間部に発電装置パネル（太陽光パネル等）を取付けることができる。

No.	受賞名	作品	出品者	作品概要
16	公益財団法人 福島県産業振興 センター理事長賞	自在自立スタンド付き なべぶたハンドル 	郡山市 岩澤 宏和	径の違う様々な鍋ぶた（ねじ式）に 対応可能な縦置き用ハンドル。狭い スペースにも立てて置くことができ、衛生的に調理ができる。
17	公益財団法人 福島県産業振興 センター理事長賞	スプレー缶穴あけ器 	南相馬市立 石神中学校 3年 高藤 凪沙	スプレー缶を捨てる時、今までハンマーと釘を使用して穴を開けていたが危険だと感じていた。本作品は、装置に缶を入れて押し込むだけで缶の底に穴を開けてくれるので、中身が少し残っていても自分の方に飛び散ることなく安全である。
18	公益財団法人 福島県産業振興 センター理事長賞	どこでもステッキ 	白河市立白河 第二小学校 5年 荒井 真郷	骨折した時、松葉杖を使って外出した時、家の中に杖を入れる際に底のゴム部を毎回きれいに拭くのが大変だった。自分よりも、高齢者や障害のある方達はもっと不便かもしれないと考え製作した。杖は二重構造となっており、家の中では外側の杖、家の外では内側に内蔵された杖をレバーで切り替えて使用する事ができる。
19	日刊工業新聞 社長賞	リュックを持ちした時の ベルトの引きずりを解消 	福島市 林 フミ子	リュックを使っていると、すぐ物を取り出したい時、持ち手部分を持って歩くことがある。その際、肩ベルトの下の部分が地面に付いてしまったり足にかかりそうになって危ない。そこで、肩ベルトにマグネットホックを使用し、肩ベルトが邪魔になる時には折って上部に縮めておける作品を考えた。
20	毎日新聞社賞	直置きしない スプーンとフォーク 	喜多方市立 豊川小学校 5年 新国 小百合	コロナが流行ってから、スプーンやフォークをテーブルに直接置くと、お母さんに「汚いよ」と言われ、この作品を考えた。本作品はテーブルにスプーンとフォークを置いても、口に入れる部分がテーブルに触れることがないので衛生的である。

No.	受賞名	作品	出品者	作品概要
21	福島民報社長賞	気持ち伝わるメッセージカード 	福島市立 御山小学校 5年 酒井 ひなた	スマートフォンでQRコードを読みむと見られるビデオメッセージがある。しかしお年寄りは操作が難しくて結局見ることができないと聞いた。そこで、より気持ちが伝わるように、私の声のお祝いのメッセージと、頑張って演奏したメロディをプレゼントしてあげたいと思い、ボタンを押すだけで簡単に聞くことができるメッセージカードを考えた。
22	福島民友新聞社長賞	にん知しよう予防マット 	福島市立 鎌田小学校 4年 横山 尊悠	最近、祖母の物忘れが多くなっていると聞いて心配になっていた。そこで頭と体の運動を一緒にすることで認知症予防につながると聞き、この作品を考えた。マットの上に色の付いている足形を置き、カードを引いてその指示通りに、歩きながら、手をたたいたり計算することで、頭と体へのしげきになり認知症予防につながる。
23	ラジオ福島社長賞	墨退治 	南相馬市立 原町第三小学校 6年 高力 笑愛	習字を習っていて週に1回筆を洗う。筆を洗面所で洗う時に、周りに飛び散らないようにできる物を発明した。作品の先端のキャップを開け、排水溝に差し込み、その中で筆を洗う。洗い終わったら作品の先端のキャップを閉めて、そこに筆を入れS字フックで物干しにかけて乾燥させることもできる。
24	ふくしまFM社長賞	かんたん筆あらいセット 	川俣町立 川俣小学校 3年 黒澤 歩朱	学校や家で毛筆や絵筆を使った後、洗うのに手や洗面所を汚してしまう。そこで家にあったペットボトルを使うことで汚さずに筆を洗えるよう工夫した。流しの排水溝にペットボトルをさかさまにし口部分を差し込み、蛇口から水を流しながら筆を洗う。筆の水をきるときは、排水溝からペットボトルを取り出し、飲み口から筆を入れて筆の水分を絞る。
25	福島テレビ社長賞	お薬ラクッと☆タブレッポン 	天栄村立 牧本小学校 5年 森 愛茉	親戚の叔母さんが、薬を出すのに中々出せなかつたので「簡単に出せたらいいのにな」と言っていたのでこの作品を考えた。錠剤の薬を入れて挟むと、簡単にシートから取り出すことができる。

No.	受賞名	作品	出品者	作品概要
26	福島中央テレビ 社長賞	UD（かもしれない）そそ機 	福島市立 渡利小学校 6年 山岸 大誠	父が洗剤の詰替えに苦労していた為 考えた。詰替え用洗剤を固定させる せんたくばさみにセット、注ぐ方向 に回転させ支える専用台に載せる。 ここから手を汚す事無く洗剤を容器 に入れることができる。
27	福島放送社長賞	もうおこられ米 	郡山市立 開成小学校 3年 小川 蒼人	お手伝いでお米を炊いた際、何合お 米をお釜に入れたか分からなくなり 怒られたことがあった。本作品は、 お米計量カップに○印と合数が書い てあり、入れた合数の場所に指を置 いて確認しながらお米を計って入れ ていく事ができる。
28	テレビユー福島 社長賞	ワンステップ台 	二本松市立 二本松第一中学校 2年 鳴原 来仁	祖母が車に乗る時や少し高い階段を 上がる時、もう一段あれば危険な思 いをせずに上がる事ができると考え 製作した。本作品は、杖ともう一段 高さが欲しい時の補助台がセットと なっている。持ち運びがしやすい様 に軽量化を考え、補助台の素材は木 だけでは無く、中の素材は発泡スチ ロールを使用している。
29	奨励賞	紙オムツ テープ止めの改良 	天栄村 金森 千加子	従来、紙オムツのテープは前面で止 める。しかし認知症の方の中には、 どうしてもテープ止めを外して汚し てしまう方も多く、介護現場の負担 も増えてしまう。そこで介護支援専 門員の目線から「尊厳」を大切にし た、介護する側、される側にも優し い本作品を考案した。オムツのテー プ止めを後ろ側にし、更にもう一つ お腹の部分にもテープ止めを増やす という工夫がされている。
30	奨励賞	安全すりおろし器 	学校法人 いわき秀英学園 秀英中学校 2年 白土 菜南子	野菜をすりおろす時に最後の方にな るとすりおろしにくくなったり、野 菜も小さくなり持ちにくく、ケガな どもしやすい。本作品の取っ手に野 菜をしっかり挟み、ハンドルを上下 に動かす事で野菜をすりおろせる。 手は固定するだけなので、ケガをす ることなく、野菜の最後までしっかり すりおろすことができる。

No.	受賞名	作品	出品者	作品概要
31	奨励賞	しぶる君 	会津若松市立鶴城小学校 5年 平田 隆人	お母さんが排水溝ネットを捨てるために水気を絞る時、ヌルヌルして気持ち悪いと言っていたので考えた。飲み口部分から下に 4 cm 残してカットしたペットボトルに、排水溝ネットを通して絞る。手で触ることなく排水溝ゴミの水気を絞る事ができる。
32	奨励賞	万能すぎる三角定規 	郡山市立行徳小学校 6年 柳堀 ゆり子	算数の問題を解くときに、30度、45度、60度、90度をよく使うため、2つの三角定規を持ちかえるのが大変だと感じた。そこで、これ1つあれば、すべての角度を測れたり書けたりする三角定規を考えた。空白部分には分度器もついているので他の角度を測ることもできる。
33	奨励賞	アーチ型ハンガー 	郡山市立薰小学校 5年 黒澤 千玲	アーチ干しが洗濯物を早く乾かすと知った。本作品は、洗濯ピンチの長さをアーチ型に変えてあり、同じ長さの洗濯物をまとめて干すときに、簡単にアーチ型に干すことができる。
34	奨励賞	熱いものがすぐとれる 便利エプロン 	南相馬市立原町第三小学校 3年 境原 綾寧	お母さんが料理をしている時、オーブンやお鍋など、熱いものをとっさにつかめず、ナベつかみを探している、不便そうに見えたので考えた。ナベつかみのミトンがエプロンと一体化しているので、サッと使うことができる。普段はポケットとして使えるように、付ける位置も工夫した。

学校賞

賞名	発明奨励賞
学校名	いわき市立勿来第二中学校
学校名	南相馬市立原町第三小学校
賞名	青少年発明奨励賞
学校名	いわき市立勿来第二中学校
学校名	南相馬市立原町第三小学校